

# PRsj

PUBLIC RELATIONS  
SOCIETY OF JAPAN

# NEWS

2021年11月号

NO. 334

## TOPICS

- 走る・曲る・止まる・にブランドをスパイス！ー 基幹産業とPRビジネス  
(公社)日本パブリックリレーションズ協会 副理事長 大石哲也  
MESSAGE P4
- 広報・PRスキルアップ実践講座② 「リサーチ&PRプランニング」開講  
ATTENTION P6
- 本年も「新任広報部長講座」をオンライン開講  
ATTENTION P7
- 『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2022』を刊行  
ATTENTION P8
- 第31回1次試験 12月1日(水)から申込受付開始  
ATTENTION P9

### 公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー

5F 電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F  
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 畔柳 一典

# 11月号目次

11月～12月のスケジュール	-----	2
MESSAGE(メッセージ)	走る・曲る・止まる・にブランドをスパイス！ー 基幹産業とPRビジネス	----- 4
ATTENTION(お知らせ)	広報・PRスキルアップ実践講座② 「リサーチ & PRプランニング」開講	----- 6
〃	本年も「新任広報部長講座」をオンライン開講	----- 7
〃	『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2022』を刊行	----- 8
〃	第31回1次試験12月1日(水)から申込受付開始	----- 9
BULLETIN(活動報告)	第46回「PRスキル研究会」開催報告(会員限定)	----- 10
REPORT(講演レポート)	第216回定例研究会(正会員・個人会員会員限定)	----- 11
協会掲載記事	PRSJ in Media	----- 12

# 11月～12月スケジュール

【オンライン】 広報・PRスキルアップ実践講座 ① 「コーポレート・コミュニケーション」	日 時 : 10月12日(火)～11月29日(月) テーマ : サステナビリティ経営を支える広報活動 ～パーパス(企業目的)の実現に寄与するBASFの取組み～ 講 師 : BASF ジャパン(株) コミュニケーションズ部 部長 藤本朋子氏
【オンライン】 統合コミュニケーション集中講座	日 時 : 10月19日(火)～12月13日(月) テーマ : トータルコミュニケーション視点のPR ～社会の風を読み統合コミュニケーションで課題を解決する～
【オンライン】 広報・PR入門Web講座2021(秋期)	日 時 : 10月28日(木)～12月20日(月)
【オンライン】 第22回企業部会フォーラム	日 時 : 11月8日(月) 15:30～(15:20 サイトオープン) テーマ : 知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略 講 師 : 近畿大学東京センター 事務部長 加藤公代氏
第25回広報活動研究会	日 時 : 11月16日(火)15:30～18:00 テーマ : 第25回広報活動研究会「トッパン小石川本社ビル」訪問
【オンライン】 PRSJ セミナー	日 時 : 11月24日(水)16:00～17:00(サイトオープン 15:50) テーマ : リモート時代のクリッピングサービスとコンプライアンスについて 講 師 : 朝日新聞社 知的財産担当補佐 山下敏永氏
【オンライン】 関西部会主催 オンライン定例会	日 時 : 11月26日(金)17:30～19:00 テーマ : 吉本興業大躍進の舞台裏～テレビ番組席巻の秘密と経営陣の壮大なビジョン 講 師 : 時事ジャーナリスト/吉本興業文化人タレント 畑山博史氏
【オンライン】 広報・PRチームリーダー講座	日 時 : 11月11日(木)～12月29日(水)
【オンライン】 新任広報部長講座 2021	日 時 : 12月開講予定

# 11月～12月の理事会・委員会・ 部会スケジュール

定例理事会	(11 月度)	日 時	: 11 月 11 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: オンライン開催	
	(12 月度)	日 時	: 12 月 9 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 霞会館	
教育委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 18 日 (木)	13:30～15:00
		会 場	: オンライン開催	
資格委員会	(11 月度)	日 時	: 12 月 2 日 (木)	12:00～13:00
		会 場	: オンライン開催	
国際・交流委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 10 日 (水)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	
広報委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 25 日 (木)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	
顕彰委員会	(11 月度)	日 時	: 11 月 4 日 (木)	17:00～18:00
		会 場	: オンライン開催	
企業部会幹事会	(11 月度)	日 時	: 11 月 2 日 (火)	17:00～18:00
		会 場	: オンライン開催	
PR業部会幹事会	(11 月度)	日 時	: 11 月 16 日 (火)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	

## 走る・曲る・止まる・にブランドをスパイス！

### 一 基幹産業とPRビジネス

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
副理事長 大石哲也  
(株式会社スパイスコミュニケーションズ 代表取締役)

「これでクビになる・・・」と2回転半のスピニング中に頭をよぎる。

1979年秋、いすゞジェミニZZを箱根ターンパイク頂上で待つ二玄社CG編集部に届ける道中の事。何とかガードレールにぶつからずに無事に止まり、ホッと胸をなでた不肖の新人PRパーソン(以下マン統一)は入社2年目の若僧、大石だった。どうやら頂上よりこのシーンを眺めていたCG編集部に拍手で迎えられた。当時知る由もないモータージャーナリストの巨匠小林御大(カーグラフィック初代編集長 小林彰太郎氏(故人))のお考えは、クルマは常時”全開”ゆえにこの一門はどんな時でも全開。

1971年にGMの傘下となった、いすゞ自動車は、GMから送り込まれた取締役の一声でPR会社との契約を承諾し、担当広告代理店もGM担当のグローバル外資系広告代理店となった。当時在職したPR会社はマルボロ等、F1プロモーションをしていた関係で、トヨタ、日産よりも古いと自負する超ドメスティックカンパニーと契約となった。今も覚えているその月額のリテナーフィーは110万円だった。この40年前の110万円という額を当時の物価に照らして高いと考えるか、今も変わらないリテナーフィー制度と考えるかが分かれ目だ。広報部員としか関係性のない編集部員ジャーナリスト達には、そのPR会社なるスタッフはどう映っていたのか?当時この自動車カンパニーの他、ファッションショー制作まで手掛けたファッションブランド、ジバンシィS・A、また、ボシュ&ロム サンガラスレイバン、そしてハードコンタクトレンズに対してのソフトレンズPR活動を実行中のクライアントを兼任担当していた不肖PRマンは、広報車試乗者へのお好きなレイバンサンプリング。そして眼科医の検診を含むソフトコンタクトレンズ無料装用券を配ったりして好評を博していた。このコンタクトレンズカンパニーの月額リテナーフィーは確か50万円と記憶するが、製品のサンプリングには、とても積極的で要望通りの数量を提出してくれた。そして1984年に創刊された、クルマを文化としてブランドとして捉えた二玄社NAVI誌ではジバンシィ氏来日時のインタビューをセットして喜ばれもした。

名物宣伝部長が、タキシードを着てホテルに乗りつけてジープを発表すると(SUVという言葉のない時代)不肖PRマンに語って、その発表会イベントを仕切ったのが4WDビックホーン。そして名匠ジウジアーロ(デザイナー)本人も来日してのPIAZZA発表会。その発表会会場エントランスに飾られたフラワーオブジェが製作費110万円。この1日で消えるモノが、不肖PRマンの月額フィーと同じ金額とショックを覚えた。

担当営業とプレス対応スタッフ2名でチームを組み、29歳となった不肖PRマンは、担当クライアントを8社も兼任させられ参っていた。より深くクライアントにコミットして自分の誇れる仕事をしたい!と真剣に悩み、高輪プリンスホテルにそびえ立つフラワーオブジェの前で独立を決意した。

箱根ターンパイクの頂上で待っていた面々とは今も付き合いが続く。そして、現役でまだまだ睨みを効かせている。2000年当初に若手と呼ばれていたジャーナリストは、今も若手と呼ばれている。

1972年のマスクー法をスタートに幾多の地球的危機を技術で乗り越えてきた我が国の基幹産業としての自動車産業。お判りのように、その後いすゞ自動車はGM資本を解消。乗用車部門は撤退となった。

今、EV化とハイブリット「脱炭素」をどう捉えていくか基幹産業の行方が論の最中だ。

ジェミニ（双子）の名をグローバルに冠としたクルマのヒットCM「街の遊撃手」はパリの街中での高名スタントマンチームの作品だが、今ならCG技術で簡単にアップされるだろう。この当時の苦労話は面白い。2台の双子クルマをジョイントで繋ぐ・・・等々。

広報車両を運ぶ弊社のスタッフを見るに（昨今はYouTuberにも）原点だよ、君！とつぶやく。

PR業部会では、当協会の中期計画ミッション「パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」にどう答え、新たなるPR業ビジョンを考えなくてはと思う。その中のひとつとして、PR業全体としてのフィー制度をどう捉えるか？各社との議論を進める時が来た。

## 広報・PR実務講座 2021

### 広報・PRスキルアップ実践講座②「リサーチ&PRプランニング」 企業/ブランドを『物語』の主人公にする逆算リサーチ手法

教育委員会

協会では、「広報・PRスキルアップ実践講座」第2回「企業/ブランドを『物語』の主人公にする逆算リサーチ手法～PRプランニングに生かすリサーチのポイント～」を11月中旬からオンライン開講します。

自社商品の認知が高まらない、市場にも関心がない、予算をかけてプロモーションしてもターゲットから無視される…、等々、企業のコミュニケーション担当者を悩ます課題は枚挙にいとまがありません。最近ではSDGsへの関心も高まり社会課題の解決をめざす活動も企業に求められるなど、コミュニケーション戦略や施策の立案は難しさを倍加させています。

そのなかで目につくのは、コミュニケーション活動の成功事例。社会的に大きく話題となり目覚ましい成果を生んだいくつかの事例を紐解くと、そこには共通するポイントが見られます。

まず社会の風向きを読みその流れを掴むこと、そして自社の強みを示すストーリーを開発し巧みに組み立てられた施策を通じて、ターゲットとする人々の認知や理解を継続的に得ていくことが求められるのです。

むろん、どんな事例も当初の目論見どおりに何の問題もなく進むわけではありません。プランを実施するプロセスにおいて、不断にリサーチを重ねつつその内容を生かし反映させたアクションが、よりよい成果をもたらすのです。

コミュニケーション活動を進めるなかで繰り返されるリサーチとプランニング。担当者はリサーチとプランニングを効果的に連携させ成果を生む、今までとは異なる考え方と手法を身に付けることが必要です。



本講座では、株式会社マテリアルから小林秀行氏をお招きし、社会において企業やブランドを『何らかの物語』の主人公にまで存在を引き上げる『手法』についてご紹介いただきます。

小林氏は、PRプランナーとして様々な市場におけるコミュニケーション案件に豊富な経験を有しており、ニュースになる企画と情報設計を得意とされます。

本講座では、課題の解決をめざすコミュニケーション活動を効果的に進めるために求められるポイントとして、リサーチとプランニングを効果的に連携させる考え方と手法について具体的な事例を交えてご解説いただきます。

PR会社、総合広告代理店、事業会社においてコミュニケーション活動の企画・推進に携わるみなさまに最適の講座です。多くのみなさまの受講をお待ちします。

講座の詳細ならびに申込みは、以下の協会Webページをご覧ください。(11月中旬から公開)

<https://prsj.or.jp/event/researchplanning/>

(事務局・真部)

## 広報・PR実務講座 2021

## 本年も「新任広報部長講座」をオンライン開講 ～広報上級管理職の知見を身に着けるマネジメント研修～

## 教育委員会

協会では、新たに広報部門を担当する上級管理職に着任されたみなさまを対象とする「新任広報部長講座 2021」を12月にオンライン開講します。

本講座は、着任から間もない広報担当役員や広報部長等を対象とし、部門を統括する上級管理職としての心構えや考え方、マネジメントスキルを学ぶマネジメント向けの研修です。

今回は、長年にわたり大手日本企業で広報マネジメントにかかわる現職広報責任者、企業との交流の深い大手新聞社関係者、コンプライアンスと広報の視点を兼ね備える弁護士の3名の講師をお迎えし、企業広報、メディア、法曹のそれぞれの立場からの3つの講義をとおして、広報部門を統括する上級管理職として欠かせない知見を身に着けていただきます。

広報部長、広報担当役員などとして、新たに広報マネジメントに携わるの皆さまのご参加をお待ちします。

なお、本講座の詳細ならびに受講については、11月下旬から協会Webの講座ページにてご案内します。

- 講座名：「新任広報部長講座 2021」
- 方式：オンデマンド方式によるオンライン講座（約1.5が月間講義を視聴可能）
- 開講時期：2021年12月
- 定員：20名
- 受講資格：企業・団体の広報担当役員、広報本部長、広報部長、それら役職に準ずるみなさま

## ■プログラム

内容	講座タイトル(仮)	講師(予定)
企業広報	広報部長の責任と役割、仕事の実際	キッコーマン(株) コーポレート・コミュニケーション部長 臼井一起氏
メディア	メディアから見る企業・経営者・広報部長	調整中
法曹	新任広報部長が身に着けるべき法的知見と 危機管理のポイント	中島経営法律事務所 弁護士 中島 茂氏

## ■受講料(税込)

PR協会会員(※)	PRプランナー(准・補)	一般
33,000円	44,000円	49,500円

※正会員としてご入会いただいている企業・団体にお勤めの方、個人会員・准会員としてご入会いただいているご本人に限ります。

(事務局 真部)

## 『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2022』を刊行

広報委員会

『PR手帳』は協会設立以来継続して発刊され、今年度で42回目を迎えます。

11月25日(木)に書店店頭に並ぶ予定です。

最新のPR・マスメディア情報を満載したデータ集であることから、マスコミへのアプローチに不可欠の一冊、“情報源バイブル”として、広報・PR、宣伝・販促、IR・CSRの担当者を中心に、幅広く活用されています。

さらに今回の「PR手帳2022年版」では、内容の一部を刷新し、ネットメディアに関する詳細な説明やオウンドメディアにおける運用のポイントなど、実務により役立つ内容を充実させ、最新データに更新しています。

## ●主要コンテンツと掲載データ：

今を読み解くkeyword/知っておきたいFact data/「パブリックリレーションズ」の解説/広報・PR実務に役立つチェック&フロー(ネットメディアに関する解説を新たに追加)/部数・視聴率最新データ/PR・IR用語ミニ辞典/PR関連団体/企業の文化施設/主要メディア連絡先一覧/主要サイト一覧/記者クラブ/官公庁・各種団体/イベント会場/2022年記念日カレンダーなど

## ●価格：2,035円(1,850円+税)

(正会員は1,120円(税込)表紙カバーはありません)

## ●販売：協会事務局、首都圏・大阪・名古屋等全国主要書店で広く販売されています。



表紙カバーデザイン

事務局では随時注文を承っており、皆さまのご利用をお待ち申し上げます。

なお、協賛広告のご出稿をいただきました会員会社各位には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

※『広報マスコミハンドブック (PR手帳) 2022』を刊行」のニュースリリースを11月中旬ごろに配信する予定ですので、発表までは情報の取り扱いにご注意ください。

## PRプランナー資格認定制度／検定試験

## 第31回1次試験 12月1日(水)から申込受付開始

—試験期間は、2月12日(土)～2月27日(日)まで—

## 資格委員会

2022年度前期（第31回）1次試験のお申込み受付を12月1日（水）から開始いたします。第31回1次試験も、PCを使用して、2月12日（土）～2月27日（日）まで実施されます。本1次試験は広報・PRに関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに13,208名が受験し、9,923名が合格しております。

ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

- 全国280カ所のテストセンターに設置されたPCを使って受験していただきます。
- 16日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy（ネットバンキング）からお選びください。（手数料は無料です）
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

## 【1次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



## 【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第31回1次試験 実施概要】

試験期間	2022年2月12日（土）～2月27日（日）
仮申込み期間	2021年12月1日（水）～2022年1月28日（金） ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。 （本申込に必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2021年12月1日（水）～2022年2月4日（金） ※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込み となります。（受験日時・会場選択、受験料のお支払い）
合否発表	2022年3月16日（水）正午
試験出題数／試験時間	50問／80分
合格基準	全出題数に対して正答率70%以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR概説（2021年度版）

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記のPRプランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



**会 員 限 定****第46回「PRスキル研究会」  
『広報の仕掛け人たち』紹介事例から学ぶ  
リブランディング、新たなPRのかたち****P R 業 部 会**

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）では、PR業に携わる方のPR業務ならびにコミュニケーションスキルの向上を目的とし、“明日の仕事から使える知識を身につける”をコンセプトに「PRスキル研究会」を年に3～4回開催しています。幅広い業界から講師をお招きし、研修だけでなく意見交換の場としても活用できると、毎回好評を博しています。

第46回「PRスキル研究会」は、2020年に刊行された『広報の仕掛け人たち』紹介事例から学ぶリブランディング、新たなPRのかたち」というテーマで、2021年9月17日（金）に初めてオンライン形式で開催。キャンドルウィック株式会社のシルベスタ典子氏、横山恭子氏、共同ピーアール株式会社の千葉朋子氏をお迎えし、モデレーターは株式会社エイレックスの西田貴統氏が務めました。

**正会員・個人会員限定**

第216回定例研究会

**若者世代の価値観はどう変わったか  
～私たちが「Better Capitalism」を掲げる理由～****講 師:株式会社メディアジーン****Business Insider Japan 編集長****伊藤 有 氏**

第216回定例研究会は、9月17日（金）、オンラインで開催しました。講師は株式会社メディアジーン ビジネスインサイダージャパン編集長/TECH統括 伊藤 有氏。テーマは「躍進する「ビジネスインサイダージャパン」がめざすもの若者世代の価値観はどう変わったか — 私たちが「Better Capitalism」を掲げる理由」でした。

## PR SJ in Media

●10月1日（金） 『月刊広報会議』（宣伝会議）11月号

『月刊広報会議』11月号における当協会の連載コラムで、当協会が実施する「PRアワードグランプリ 2021」のエントリー募集について記事掲載されました。

記事ではまずダブルでグランプリが誕生した昨年の振り返りを皮切りに、今年度のエントリー要領に触れそのポイントを紹介しています。さらに今年度も審査員長を務める（株）電通PRコンサルティングの井口理氏が今回のアワードに向けて期待を語ったコメント、エントリー締切日から審査、表彰式・プレゼンテーションに至るスケジュールなどが掲載されています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。  
中身の濃い会員誌に育てていきたいとおもいますので、  
よろしく願い致します。

広報員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載